

# 魚津市立東部中学校で「ネットルールづくりワークショップ」を開催

～ 生徒自らがネットルールづくりを進めることで、ネット利用を学ぶ～



指導する 竹内 和雄 准教授

総務省北陸総合通信局（局長 濱島 秀夫（はましま ひでお））は、平成30年7月11日（水）に魚津市教育委員会及び富山県教育委員会とともに、魚津市立東部中学校において、中学生によるネットトラブル防止のための「ネットルールづくりワークショップ」を開催し、魚津市立西部中学校及び東部中学校の生徒会の生徒が参加しました。

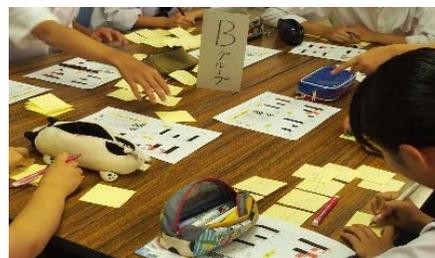
近年、SNS等のソーシャルメディアが普及し、利用する生徒の日常生活への悪影響やネット上への不用意な投稿によるトラブル等を心配する声が聞かれます。本ワークショップは、スマートフォンなどのネット利用のルールについて、生徒たち自らが考える場として開催したものです。

最初に、講師の兵庫県立大学 竹内 和雄（たけうち かずお）准教授の指導のもと、6つのグループに分かれて、兵庫県立大学ソーシャルメディア研究会大学生スタッフ6人のアドバイスを受けながら、事前に実施したネット利用に関するアンケート結果を分析しました。

次に、ネット利用の現状や課題及びその改善方法等について意見を出し合い、各グループが分析結果を発表しました。

最後に、ネットに潜む問題点について「時間」、「人間関係」、「危険」という3つのテーマに分け、各グループから注意喚起を促す標語を提案し、投票により「魚津市ネット三か条」のたたき台を決めました。今後、各学校において全校集会を行い決定します。

参加した生徒からは「話し合いをするまではインターネットは便利なものというイメージだけ持っていたが、悪い面もあるということを実感することができた」、「今日の話合いを学校に持ち帰り、みんなが良い使い方をできるようにしていきたいと思った」等の感想がありました。



グループ内でネット利用の現状など意見を出し合う様子



分析結果を発表する様子

## 【魚津市ネット三か条】

- 一、時間で実感 こりゃいかん！
- 二、きどくスルー 人間関係 ひどくするー
- 三、SNS ちょっと待って 君の名は？